

庭の紫陽花が色づき始めました。もうすぐ梅雨なのでしょうね。学校の玄関や、校長室に活けてみました。

有水中学校校長室より

令和4年
5月18日(水)
文責 木宮 崇子

生き抜く力

4月のPTA総会で、保護者の皆様に各ご家庭での子育てのモットーや、自己紹介についてお願いをして早一ヶ月が過ぎました。お忙しい毎日の生活の時間を使っていただきご返信をいただきありがとうございます。総会資料の返信の中に、保護者の方々が考えている「生き抜く力」について回答をいただきました。ここでいくつかご紹介させていただきます。

【生き抜く力】とは・・・

- 主体性をもつて行動する。 諦めない。 投げ出さない。 健康であること。
 - 食べ物 人と人とのつながり 熟考し決断できること。 自主自立
 - 心(心ここにあらざれば 視えども見えず 聴けども聞こえず 食へどもその味を知らず)

他の保護者の皆様は【生き抜く力】をどのようにとらえているでしょうか。何が正解ということはありません。保護者や私たち教職員を含んだ生徒にかかわる全ての大人たちが、それぞれの思いをもち本校の教育の目標の「生き抜く力をもった笑顔あふれる生徒の育成」と共に取り組んでいなければと考えています。

共にとは・・・

生徒を育てていく上で、保護者と学校が「共に」とか、「連携して」とか、「共通理解のもとに」などの言葉をよく耳にしますが、具体的にはどんなことをすれば「共に」「連携して」「共通理解のもとに」ということが成し遂げられるのでしょうか。担任の先生から発信された学級通信に返事を書いて提出、心配事を電話で相談、欠席や遅刻・早退などの連絡、参観日への出席、行事への協力等でしょうか。しかし、お仕事や家庭の事が忙しくて、学校と連絡を取り合ったり、授業や行事を参観する時間さえ生み出せないのが現状ですね。その上こどもに学校の話を聞こうにも「この頃あまり話をしなくなりました。」等という声を聞いたらしくなります。(思春期ですね。)「共に」生徒を育成していくなんてできない!と考えますか?さあどうしましょう!

- 担任の先生の出された【学級通信】をはじめとする学校からのお便り(進路便りやほけんだより)に目を通してください。
⇒ 先生方は、文章を書くときに、内容をよく練り、どのように伝えればいいかを考えながら作成しています。
 - ホームページを週に2~3回アップしているので、見てください。
⇒ 行事はもちろんですが、普段の何気ない学校生活の一コマをアップするようにしています。

以上の二つの事を時々してくださるだけで十分な学校理解です。欲を言えば通信の返信欄に何か書いてくださると先生方の励みになります。返信のネタは生徒の事だけではありません。家庭の出来事でも、ご自分の事でも、愚痴でも。話題は生徒の事だけとは限らない。いろいろな話題で先生方と繋がる。それが実は「共に」育むということの土台になる。そんな風に考えてみてください。ということで…

次回の通信は【勉強】について考えてみたいと思います。

中学時代はどのように勉強していましたか。勉強は好きでしたか。勉強に関する思い出は何かありますか。勉強ってどう思いますか。などなど。自由にご記入ください。書き終わったら、子どもさんに「直接校長室に持つて行くんだよ」と伝えてください。よろしくお願ひします。

きりとり

年 生徒名

保護者名